

第 33 回

令和 8 年 5 月 11 日

No.1780

会長 藤田 敬治
 幹事 菊池 武司
 例会日 / 毎週月曜日 12:30~
 例会場 / トキハ会館 4F
 TEL 097-532-0611
 FAX 097-532-8386

会長スローガン

よいことのために手を取りあい、
 新たなクラブ活動を目指そう！
 ~明るく、楽しく、さわやかなクラブ運営を~

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp
 ホームページ : www.oita1985rc.jp

UNITE FOR GOOD

2025-'26年度
 国際ロータリーのテーマ
**「よいことのために
 手を取りあおう」**

R I 会長 フランチェスコ・アレツォ
 RI第2720地区ガバナー 藤田 千克由
 大分第4グループガバナー補佐 森 永 隆 二

■ 本日のプログラム (5月11日)

12:30 点 鐘
 会 食
 ロータリーソング 「奉仕の理想」
 ゲスト・ビジターの紹介 会長 藤田 敬治
 会長の時間 会長 藤田 敬治
 出席報告 出席担当 高橋 道成
 幹事報告 幹事 菊池 武司
 委員会報告 「関係委員会」
 ニコニコタイム 高橋 道成

13:00 次年度組織発表

*** 今週のお祝い**

結婚記念日 大木 孝吉会員 (5月11日)
 在籍祝い 池邊 友起会員 (8年)

■ 第32回例会の記録 (4月20日)

職場例会 南蛮BVNGO交流館見学
 於：大分県立芸術文化短期大学

・出席報告 (4月20日)

会員総数	22 名	
4 月 20 日		
出席免除	0 名	
出席会員数	12 名	
出席率	54.55 %	
ゲスト	0 名	
ビジター	9 名	(サインのみ受付)
4 月 6 日		
修正出席率	86.36 %	

ロータリーソング

【奉仕の理想】

奉仕の理想に集いし友よ めぐる歯車いや輝きて
 御国に捧げん我等の業 永久に栄えよ
 望むは世界の久遠の平和 我等のロータリー

会長の時間 (5月11日) 会長 藤田 敬治

大分市を取り巻く社会情勢と課題の4点目として「デジタル化の進展」について触れてみます。近年、5G、IoT、AIなどのデジタル技術が急速に発展し、私たちの日常生活の中でもテレワークやオンラインサービスなど、新たな働き方や暮らし方が普及してきています。

新型コロナウイルスへの対応において、国・地方の双方で行政におけるデジタル化の遅れなど、デジタル環境をめぐる様々な課題が浮き彫りになりました。

デジタル技術の活用により、新たなサービスの創出や価値観の変化がもたらされる中、それに伴う個人情報の保護や情報セキュリティの強化、情報格差の是正などに配慮し、誰でもがいつでも、どこでも、デジタル化の恩恵を受けることが出来、安全で快適に暮らせる社会の構築が求められています。

今後は、市民の利便性向上のため、市民サービスのデジタル化を推進するとともに、地域の活性化を図るため、行政が保有する各種オープンデータの二次利用を促進するほか、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、市民の誰もがデジタルの恩恵を受けられるように、DXの推進に取り組む必要があります。

<愛のポリオ募金>

4月集計分 1,617円
 ご協力ありがとうございました

・4/20(月)大分県立芸術文化短期大学にて例会行事を行いました。

案内：大分県立芸術文化短期大学 教務学生部 橋本 展幸様
ご厚意により、附属図書館・音楽ホール棟も見学させていただきました。

・南蛮BVNGO交流館見学

案内：大分市役所 文化財活用推進班 中西様
豊後王 大友宗麟

大友宗麟は戦国時代から安土桃山時代にかけて九州で活躍した戦国大名で、本名を大友義鎮といい、大友氏の二十一代当主。

府内のまちで活動していた宣教師ルイス・フロイス(1532-1597)は、キリスト教を保護し、南蛮貿易を積極的に行った宗麟を『Bungo(豊後)王』として、ヨーロッパに報告し、「日本の戦国大名の中で、最も考え深く、人徳があり、あらゆる才能に優れている」と伝えています。

晩年は島津氏との戦いなどで勢力を失いながらも、1587年に亡くなるまで九州の有力大名として歴史に名を残しました。



戦国時代の九州でどのような役割を果たしたのか
大友宗麟は豊後国の戦国大名であると同時に、北部九州一帯に大きな影響力を持つ「北九州の覇者」の一人でした。

宗麟が当主となった大友氏は、豊後だけでなく豊前、筑前、筑後、肥前、肥後など北部から中部にかけての九州諸国に勢力を伸ばしていきました。

宗麟は室町幕府から複数の守護職と「九州探題」という役職を任せられ、名目上は九州の秩序維持を担う立場として認められていました。

こうした地位の背景には、有能な家臣団の存在と、対外貿易を通じて得た豊富な財力、そして周囲の大名と巧みに渡り合う外交力がありました。

宗麟の時代の宗麟は、龍造寺氏や島津氏と並んで「九州三英傑」と呼ばれるほどの大勢力となり、九州の政治や軍事のバランスに大きな影響を与えていました。

さらに宗麟はキリスト教の保護や南蛮貿易の推進を通じて、豊後府内の港町を西洋文化が行き交う国際的な都市へと成長させ、九州の中で特に開かれた地域を作り上げました。

その後、島津氏との戦いで敗れて大友氏の勢力は縮小しますが、宗麟が築いた最盛期の版図と外交的なつながりは、戦国期九州の勢力図を語るうえで欠かせない重要な要素になっています。

国際貿易都市「府内のまち」

1551年(天文20年)、宣教師フランシスコ・ザビエルは、大友義鎮(宗麟)の招きで、豊後の国(大分県)の中心で大友氏の拠点であった府内のまちを訪れます。

この宗麟とザビエルの会見をきっかけに南蛮貿易がはじまり、16世紀になると府内のまちは、40あまりの町に5000軒もの家々が建ち並ぶ、日本有数の国際色豊かな貿易都市として大いににぎわいました。



委員会報告

・次年度青少年奉仕委員長 藤田 敬治会員

次年度地区補助金プロジェクトの事前準備(芋の苗植え)をします。

日時 5/17(日)14時～

場所 JA戸次農園

詳細は、次回5/11(月)例会にてお知らせいたします。

・玖珠RC45周年記念式典 ジャンボタクシーについて

トキハタクシーを利用

例会の予定

- 5月18日(月) 宇野敬三様(愛育学園はばたき)の卓話
- 5月25日(月) ゲスト卓話(大木会員より紹介)
- 6月 1日(月) 次年度奉仕計画の発表(1) 対内奉仕
- 6月 8日(月) 次年度奉仕計画の発表(2) 対外奉仕
- 6月15日(月) 今年度総括
- 6月22日(月) 最終夜の例会 19時～トキハ会館